

「我が図書館ならではの本！！」

～ 始良・伊佐支部 伊佐市立図書館 ～

作家・内田康夫氏の名探偵・浅見光彦シリーズ『黄金の石橋』において、物語の主な舞台として伊佐市が登場します。

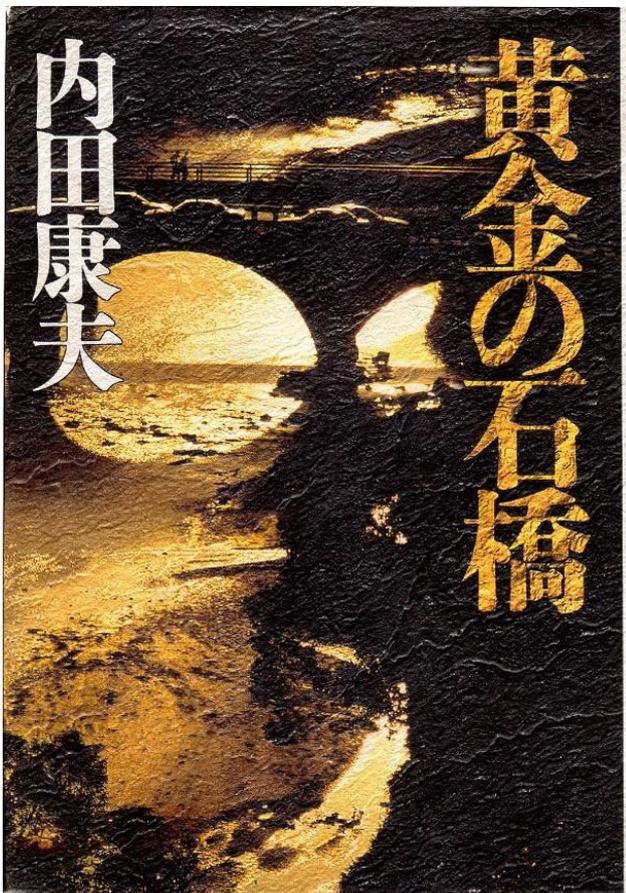
これは、伊佐市出身の俳優・榎木孝明氏がテレビドラマで長年にわたり浅見光彦役を演じ、そのつながりで伊佐市を知った内田康夫氏が、榎木氏本人が登場する浅見光彦シリーズを執筆されたものです。

平成14年には、榎木氏が浅見役を卒業するにあたり、『黄金の石橋』がテレビドラマ化されました。（フジテレビ系列「内田康夫サスペンス 浅見光彦シリーズ14」）

その際、榎木氏は浅見役と依頼人の榎木孝明・本人役の二役を演じたほか、原作者の内田康夫氏も特別出演しました。

物語のあらすじは、軽井沢のセンセ（内田康夫氏）から、鹿児島県菱刈に在住する俳優・榎木孝明氏の母親を護衛するよう依頼された名探偵・浅見光彦が、伊佐市をはじめとする鹿児島県や熊本県各地を訪れ、西南戦争時に西郷軍が隠した財宝の在りかを示す「金の石橋」という暗号の謎に挑むというものです。はたしてその「財宝」とは……。

物語の背景には西南戦争があり、鹿児島・熊本両県の石橋や伊佐市の風景も数多く登場します。



書名：『黄金の石橋』

著者：内田康夫

出版社：実業之日本社

出版年：平成11年6月